

電波利用料技術試験事務及び研究開発の評価に関する会合（第7回） 議事要旨

日時：平成18年4月24日（月）14：00～17：00
場所：低層棟1F（総務省） 第1会議室

構成員 別紙のとおり

議事

- （1）電波資源拡大のための研究開発・平成18年度一般公募案件の採択評価
- （2）その他

【配付資料】

- 資料7-1 電波利用料技術試験事務及び研究開発の評価に関する会合（第6回）議事要旨(案)
- 資料7-2 電波資源拡大のための研究開発（一般公募）平成18年度採択評価説明資料
- 資料7-3 電波資源拡大のための研究開発（一般公募）平成18年度提案書
- 資料7-4 電波資源拡大のための研究開発（一般公募）平成18年度採択評価専門評価結果

- 参考資料7-1 電波資源拡大のための研究開発 平成18年度研究開発課題一覧
- 参考資料7-2 電波資源拡大のための研究開発（一般公募）平成18年度基本計画書
- 参考資料7-3 電波資源拡大のための研究開発の採択評価について

1 開会

事務局から議事次第に基づき、配付資料の確認があった。

資料 7-1「電波利用料技術試験事務及び研究開発の評価に関する会合（第 6 回）議事要旨(案)」については、後ほど確認の上、コメント等があれば平成 18 年 5 月 1 日（月）までに事務局まで連絡することとなった。

2 議事

（ 1 ）電波資源拡大のための研究開発・平成 18 年度一般公募案件の採択評価

事務局から電波資源拡大のための研究開発・平成 18 年度一般公募案件の採択評価の進め方について説明があった。

各提案者から資料 7-2「電波資源拡大のための研究開発（一般公募）平成 18 年度採択評価説明資料」及び資料 7-3「電波資源拡大のための研究開発（一般公募）平成 18 年度提案書」に基づき、提案内容について説明がなされた。

（個々の提案に関する質疑応答は非公開）

【総括】

各提案に対する質疑応答の後、評価員から事務局へ評価調書が提出された。提案全体に対して以下のようなコメントがあった。

本研究開発制度は一つ一つの案件が非常に予算額が大きく、かつ長期間なため、大学の研究者が積極的に手を挙げにくいという問題がある。もう少し予算を抑えて短期間で実施できるような案件を用意できないか。

本年度の提案者にも大学がいくつかあったものの、確かにご指摘の点は承知している。案件としては大きなものでも、提案募集の段階で細分化するなど、大学等がより提案しやすい形を今後考えていく必要があると認識している。

募集内容を分割すれば提案者が増えて有益な面もあるが、単一の大規模なグループがしっかりした目標に沿って、要素技術を統合しながら研究開発を実施することにも非常に大きな意味がある。いたずらに募集内容を分割してしまうと技術が分散し

てしまい、大きな成果に結びつかない可能性もあるので注意すべき。

【議題（２）その他】

事務局から今後の評価会のスケジュールについて説明があった。

以上

電波利用料技術試験事務及び研究開発の評価に関する会合
構成員

	氏名	所属	出欠
座長	羽鳥 光俊	中央大学工学部 教授	
座長代理	三木 哲也	電気通信大学 教授	×
構成員	荒木 純道	東京工業大学大学院 教授	
"	黒田 道子	東京工科大学 教授	×
"	鈴木 康夫	東京農工大学 教授	
"	東倉 洋一	国立情報学研究所 副所長	×
"	根元 義章	東北大学大学院 教授	
"	本城 和彦	電気通信大学 教授	
"	森山 光彦	(株)三菱総合研究所 上席研究理事	